

ポルシェ用ステアリングボス 0993

カレラ 993・996 / ボクスター 986 エアーバック装着車用取説

装着前に必ずお読み下さい。

- ・993 ティプトロニック(以下記: Tips)付はステアリングホイールでのシフトチェンジが出来なくなります。ボクスター Tips 付には取付けできません
- ・理論上、運転席エアバック(以下: SRS)を取り外しても、警告灯が消灯されていればハンドル以外のエアバッグは作動するはずですが、完全な作動は保証出来ません。
- ・運転席 SRS を取り外すことにより、任意保険の契約内容の変更の手続きが必要になる場合があります。ご加入の保険会社にお問い合わせください。
- ・純正ステアリングにホーン以外のスイッチ類が装備されている車種は、その機能が使用出来なくなります。本体側で操作して下さい。
- ・本製品は 2 ピース構造になっており、上部(アッパー)と下部(本体)はボルトで工場出荷時に規定のトルクで締め付けてあります。絶対に緩めないで下さい。
- ・稀に車両の電気的特性により、SRS警告灯が消灯できない場合があります。ご了承下さい。
- ・純正ハンドルの取り外しについては各自動車メーカーの整備指示書(解説書)に従って作業して下さい。本書での取り外しはあくまでも参考程度にしてください。
- ・バッテリー端子を取り外すことによりオーディオやパワーウィンドウが初期化されます。復元方法は事前にお調べください。
- ・ステアリングは重要保安部品に該当しますので、しかるべき知識や技術をお持ちの専門店へ作業をご依頼ください。

装着手順

1、作業開始準備

作業前にタイヤとステアリングホイールを直進状態にして下さい。

2、バッテリー端子の取り外し

バッテリーのマイナス端子を外して 10 分放置して下さい。

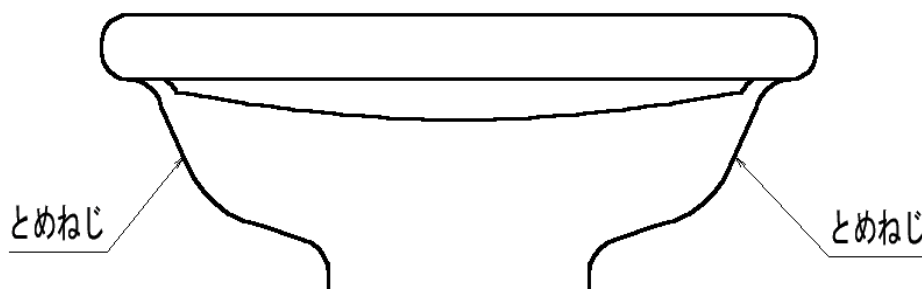
作業が終わるまで絶対に接続しないでください。

3、SRS モジュールの取り外し

純正ステアリングホイール裏面の左右 2 個所に SRS モジュールのとめネジがありますので、トルクスレンチ (T30) を使用して緩めて下さい。

SRS モジュール本体を取り外し、裏側のハーネス類を外して下さい。

外した SRS モジュールには絶対に電気を流さないで下さい。(テスターも含む)



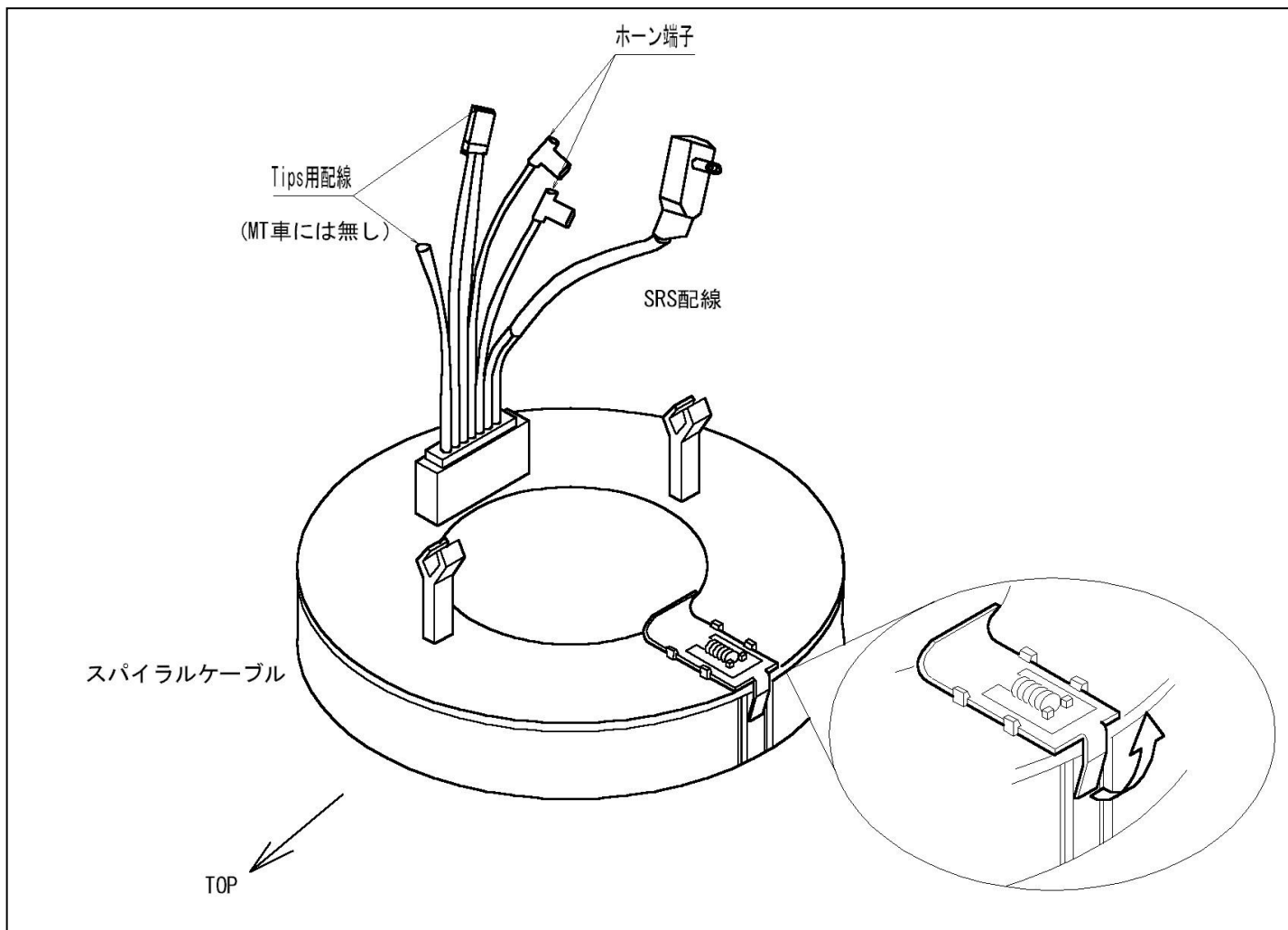
4、純正ステアリングの取り外し

車両の整備指示書を参考にステアリングを取り外します。

ステアリングを完全に外す前にシャフトの先端などにトップの目印をつけておくと、ボスを装着する際にわかりやすくなります。

取り外し後、車体側スパイラルケーブルの誤回転防止の爪をラジオペンチ等で少し持ち上げて下さい。

この時車体側スパイラルケーブルは絶対に回さないで下さい、左右の回転数が決まっていますので、回転させてからボス等を取付けますと中の配線を切断します。



5、ボスの取り付け

スパイラルケーブルが出ているハーネスをボス裏面の穴から引き入れつつボスのトップマーク(・)を12時にし、4で印を付けた箇所に角度を合わせてボスをステアリングシャフトに挿入してください。

取り付けする社外ステアリングをボスに仮止めし、タイヤとステアリングのセンターが合っているかを確認してください。取り付け角度に問題が無ければステアリングを外します。

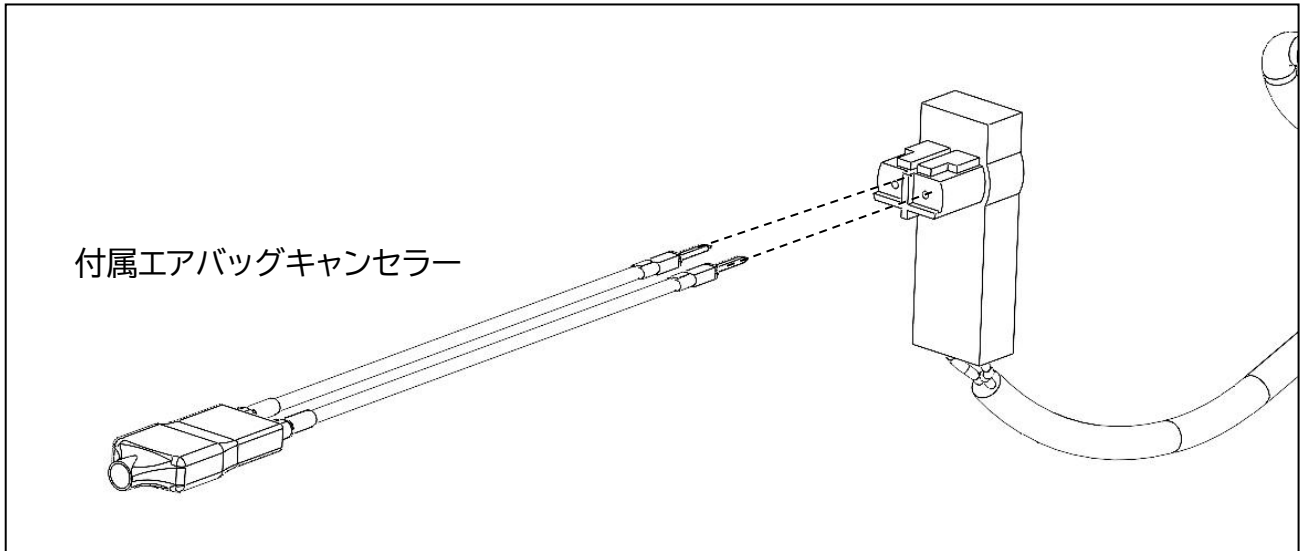
ボスカバーがコラムカバーに接触する場合はカッターなどで切除してください。

この時怪我には十分注意してください。

※シャフトの1山以下の調整はできません。ステアリングセンターが出ない場合はタイロッドの調整でセンターを出してください。

6、SRS 配線の処理

ボス内部に引き込んだ SRS コネクターに付属のエアバッグキャンセラーを挿し込みます。
配線に極性はありません。抜けないようにビニールテープなどで固定して下さい。

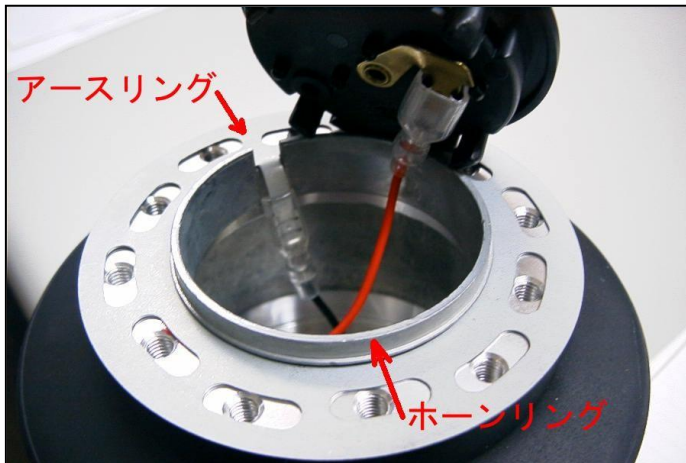


7、ホーン配線の接続

使用するステアリングやホーンボタンによって配線の接続方法が変わります。

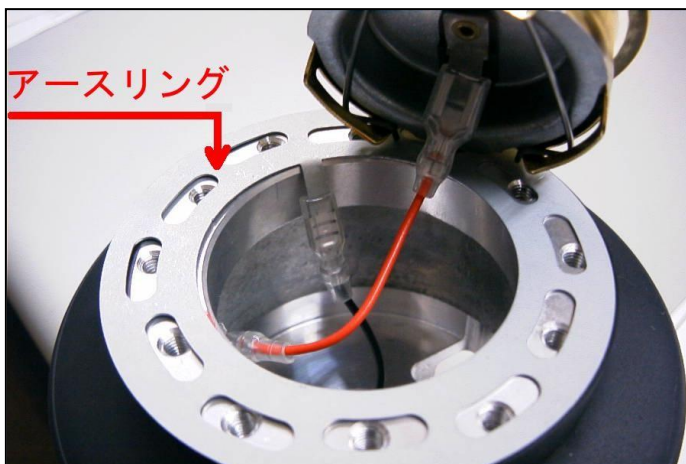
- ・ホーンボタン裏の端子が1極の場合は車両側から出ているアース線に付属の変換配線を使用してアースリングに接続します。車両側の配線の片方がオスギボシの場合は付属の配線で変換してアースリングに接続してください。(下図を参照)
- ・ホーンボタン裏の端子が2極の場合は車両側から出ている2本の配線をそのままホーンボタンに接続しますのでアースリングは使用しません。車両側の配線の片方がオスギボシの場合は変換配線をお客様自身で加工するか配線を新規で作成して接続してください。

※センターボルトの本締め付けが終わっていないのでホーンボタンは装着しないでください。



・接続例

MOMO タイプホーンボタンで裏端子が1極の場合
変換配線+アースリング+カットリング



NARDI タイプホーンボタンで裏端子が1極の場合
変換配線+アースリング

8、ステアリングの取り付け

取り付けする社外ステアリングホイールをボス付属のネジで取り付けします。ステアリングの種類により使い分けてください。ネジの締め付けトルクは **676N・cm** です。

9、センターボルト締め付け

純正のセンターボルトを使用しボスを規定トルクにて締め付けて下さい。

締め付けトルクは 30N・mです。

10、ホーンボタン取り付け

使用するホーンボタンに配線を接続してボスに取り付けて下さい。

2極タイプの場合はどちらの端子がプラスマイナスかを確認し、ホーンボタンに接続してください。

11、作業終了

バッテリーのマイナス端子を元に戻し、エンジンをかけて SRS 警告灯が消灯することを確認し、ホーンが鳴ることが確認できれば終了です。

作業終了後、パワーウィンドウとオーディオの復元をしてください。

注:取外したSRSモジュールは純正ステアリングに取付けた状態でSRS本体を上に向け保管して下さい。

株式会社ワークスベル

株式会社ワークスベル 〒391-0011 長野県茅野市玉川 8507

TEL 0266-79-3761 FAX 0266-79-4706

Email: support@worksbell.co.jp

URL: <http://www.worksbell.co.jp>